

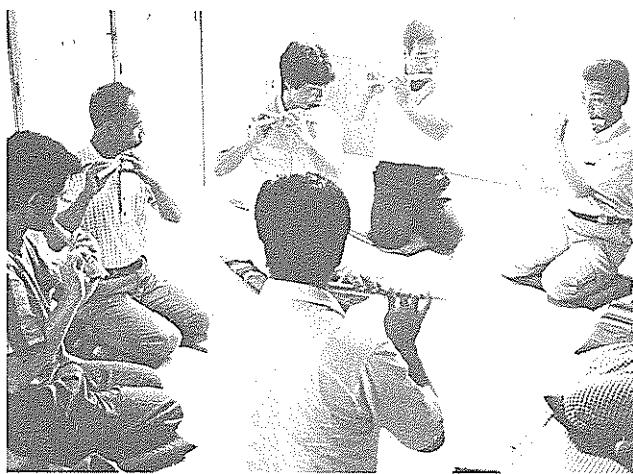
まほろば囃子の

創作に寄せて

井上正彦（岡豊小学校教頭）



井上 正彦さん



篠笛の基礎練習始まる（八月十九日）

田村遺跡、古墳群、国衙跡、岡
豊城址、舟入用水等、歴史的、文
化的に由緒ある郷土。太平洋、香
長平野、そして北部の山々には太
自然のたたずまい。こんな景物を
持った郷土がほかにあるでしょうか。
この南国市を改めて見直し、誇りと
郷土愛を全市民のものにしたいもの
です。

こうした願いを象徴するかのよう
に、一つの挑戦が始まりました。「土
佐のまほろば囃子」の創作です。市と
市民が一体となり、具体的に体を動か
して、市民に愛され、心の糧となる
郷土の文化を創造し、後世に継承し

田村遺跡、古墳群、国衙跡、岡
豊城址、舟入用水等、歴史的、文
化的に由緒ある郷土。太平洋、香
長平野、そして北部の山々には太
自然のたたずまい。こんな景物を
持った郷土がほかにあるでしょうか。
この南国市を改めて見直し、誇りと
郷土愛を全市民のものにしたいもの
です。

陽がさんざんと降り注ぎ、バラエ
ティーに富んだ産業を生み、清潔
な空気と緑につつまれた健康的な
自然のたたずまい。こんな景物を
持った郷土がほかにあるでしょうか。
この南国市を改めて見直し、誇りと
郷土愛を全市民のものにしたいもの
です。

ついでこうというものです。しかし、
新しい文化を生み出すことはたやすく
ありません。それは全市民が協力し、英知を結集して
根気強い努力を続ける過程でのみ
約束されることで、安易な期待は禁物です。

最近、あちこちで太鼓中心のイベ
ントが続々誕生しています。力
強い連打の迫力と派手な立ち回り
にはだれしもが酔いします。今
度の企画に多くの市民はそのよう
なイメージを持っているのではないか
でしょう。しかし、南国市のま
ほろば囃子はそれらとは趣を異
にし、獅子舞などでおなじみの、
笛と太鼓が互いに侵すことのない、

克なる価値に理解と関心を持つこと
こそまほろば囃子を生み育てる原
動力だと思います。

伝統の技術と感覚をじゅうぶん

身につけられた二人の若い先生、
新しいなかを生み出そうとする
創作意欲に満ちあふれたさわやか
さに触れ、敬意と期待に胸が膨ら

みました。

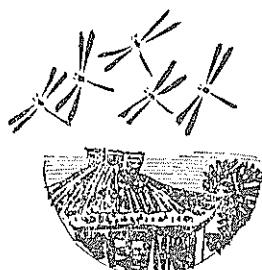
四十人の会員が共通の目的を持
つて出会い、一生手にすることの
なかつたはずの篠笛に、たどたど
しませんでした。

土佐のまほろば囃子振興会は七月十三日に結成されました。

会員は四十五人。一日も早くまほろば囃子を実現しよ

うと練習に励んでいます。興味のある方は左記までお問い合わせください。

土佐のまほろば囃子振興会
事務局
市役所（内線2111）
企画財政課（内線207）
産業経済課（内線221）



持った表現を希求しており、我々
の知る限りではたいへん希少な試
みだと思います。

初めての会合で先生から「江戸
囃子」を聞かせていただきました
が、勇壮な太鼓のリズムにはない、
笛と太鼓の調和のとれた魅惑的

で庶民の生活の営みや願いを象徴
するかのような美しい響きに、親
しみと心の安らぎを感じました。

さはあっても一生涯打ち込む
その透明気に大きな意義を感じ
ました。

南国市にふさわしい、市民から
愛される「土佐のまほろば囃子」の
創作。完成までの道は険しく、厳
しい試練も待っているでしょうが、
囃子のよさを市民にじっくり理解
してもらいながら、慌てず、自信
が持て、納得がいくまで創作と練
習に打ち込むことがたいせつだと
思います。単に囃子の演奏だけに
とどまらず、あの「阿波踊り」の
ように、市民が囃子に浮かれて飛
び出し、溶け込みとなるような
振り付けなどを考えて、全市民の
「土佐のまほろば囃子」が生まれる
ことを期待してやみません。